

## 適切な恐怖記憶形成を保つ 分子機構

講師：森下 良一 助教

名古屋市立大学 大学院医学研究科  
認知機能病態学寄附講座分野



日時：2022年4月28日（木）17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス  
医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンラインでの参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。

URL：<https://us02web.zoom.us/j/81079434330>



恐怖体験の記憶は過去の経験を通して危険を予知し回避するために必要不可欠です。しかし、過度な恐怖記憶の形成は、不安や恐怖により過剰な防御反応を引き起こす不安障害やパニック障害といった精神疾患の一因となり、日常生活に支障をきたします。従って、適切な恐怖記憶形成を保つためには、恐怖を記憶と結び付けつつも、過剰な恐怖を抑制するメカニズムが重要であると考えられます。同時に、既に形成された恐怖記憶によって引き起こされる不安障害などの精神疾患を克服するためには、現在の状況に基づき、過度な恐怖を抱く必要がないことを新たに学習するプロセス（消去学習）も重要です。

本研究では、恐怖・情動記憶に関与することが知られている脳部位である扁桃体において高発現し、ストレス要因への暴露によって発現が誘導される Gastrin-releasing peptide (Grp) 遺伝子の恐怖記憶形成と消去学習に対する役割について解析を行いました。本セミナーでは、これまでの研究成果について紹介させていただきたいと考えております。

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp